

おれんじニュース

No.392

2023年1月

CONTENTS

揮毫	2
年頭あいさつ	3
月例山行案内	4
お知らせ	5
定期トレーニング	6
石谷山・九千部山	7
八方ヶ岳	8
大花山	9
伯耆大山	10
おれんじカレンダー	12

上州武尊山の樹氷(エビの尻尾)

コロナ禍の状況により中止になる可能性があります。

2023年	1月	2月	時間	場所
専門部会	10(火)	14(火)	13:30~15:30	西諫早公民館
全体集会	25(水)	22(水)	19:00~21:00	

瑞祥

卯のし 元旦

皆様の心健祥とす

初おかに



新年のご挨拶

会員の皆様、はつらつと新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。

昨年コロナ禍と異常気象、いつまでも続く夏の暑さに悩まされましたが、自主登山などで活動をつないだと思います。

かつて、中高年の登山ブームに火をつけたのは深田久弥の「日本百名山」であり、岩崎元郎の「中高年のための登山入門」などであったと思います。

それもやがて、時の流れに流されるように高齢化が進んでしまいました。

でも、明らかに山に親しんでいる方は若々しくはつらつとしています。

安全第一にいつまでも山を楽しみ、心身壮健であることを願います。

当会も若い方が徐々に入会してきており、先輩方の適切な指導をお願いいたします。

会長 鎗水 律夫



月例山行案内

1月

コロナ禍の状況により変更の可能性があります。

部	山行部	自然保護部	ひまわり部	技術研修部
月/日(曜)	1/8(日)	1/22(日)	1/27(金)	7. 14. 21 (土)
山名(行事)	長崎七高山巡り	天山(七曲峠～岸川)	健山～烽火山	ボルダリング
地 図	長崎東南部東北部	古湯 小城	長崎東北部	1/28(土)
集合場所	JR 長崎駅改札口 8:00	諫早駅西口 7:50 西 諫 早 駅 8:00	西 諫 早 駅 9:00	コンパニオン レスキュー (冬山の装備と技術 の訓練を行う)
難 易 度	体力 2/技術 1	体力 1/技術 1	体力 1/技術 1	
帰着時間	17:00	16:30	15:30	
歩行時間	7.0h	4.0h	4.0h	
交通手段	公共交通機関	マイクロバス	マイカー	
宿泊施設	なし	なし	なし	
温 泉	なし	なし	なし	
参加費	交通費 個人負担	4,000	800	
申込期限	1/4	1/15	1/20	
集 約	吉川	田 村	田 中	
備 考	全ての安全祈願 (8時に長崎駅に集合し、 全山縦走組は諏訪神社へ、 ゆっくり組は蜷茶屋へ向かう)	天山県立自然公園内の自然歩道を七曲峠から天山、岸川へと下山(ちょっと雪化粧期待)	江戸時代に長崎港警備の為外国船の渡来を急報する烽火台が造られ烽火山と呼ぶ	

2月

コロナ禍の状況により変更の可能性があります。

部	山行部	自然保護部	ひまわり部	技術研修部
月/日(曜)	2/5(日)	2/19(日)	2/24(金)	2/4, 11, 18(土)
山名(行事)	頭巾山, 難所ヶ滝	立花山、三日月山	矢上普賢岳	ボルダリング
地 図	太宰府	古賀/福岡	長崎東北部	2/25(土)
集合場所	西諫早駅 6:30	諫早駅西口 7:50 西 諫 早 駅 8:00	西諫早駅 9:00	コンパニオンレスキュー
難 易 度	体力 2/技術 2	体力 1/技術 1	体力 1/技術 1	ロープワーク基礎 [期日は後日]
帰着時間	19:00	16:30	15:00	2/11(土)～12(日)
歩行時間	5.0h	4.0h	3.0h	藪牟田池外輪山 [鹿児島県] [詳細は後日]
交通手段	マイクロバス	マイクロバス	マイカー	
宿泊施設	なし	なし	なし	
温 泉	なし	なし	なし	
参加費	5,000	4,500	800	
申込期限	1/29	2/17	2/21	
集 約	高田	田村	田中	
備 考	難所ヶ滝の氷瀑を体感しましょう アイゼン持参	福岡市民の憩いの場、立花山山頂。 三日月山山頂は 360 度の 大パノラマ。	信仰の山、不動明王、 観音菩薩の石像がある。 山頂まで 1809 階段あり。	

事務局より

・明けましておめでとうございます。今年もよろしく願いいたします。



白木峰よりの日の出

◇ 山岳信仰とは何

・山岳信仰

日本には「八百万の神」という言葉があり、様々なものに神が宿っていると考えられ、その多くは自然現象に対する信仰や畏怖からくるもので、中でも有名なものが「山岳信仰」である。仏教の世界でも空海が高野山、最澄が比叡山を開き、山への畏敬の念が見られる。

*七霊山 ・富士山 ・立山 ・白山 ・大峰山 ・大山（鳥取県） ・釈迦ヶ岳 ・石鎚山

・開山伝承

開山とは僧や行者が前人未踏の山に登攀し地主神と出会い、霊地として祀る事で聖地や修行の場として発展した。山の多くは鎌倉時代中期以降に山岳修行を体系化した修験道が成立し、開祖として役行者の開山を説く。仏教と山岳信仰の関係は8世紀頃新たな段階に入った。それを証拠付けたのは1984年大峰山(山上ヶ岳)の発掘で護摩の跡、寺院が建造されていた。また1907年に劔岳山頂で平安時代の錫杖頭を発見。不入、禁忌、遥拝の地であった山の絶頂を極める山頂登拝は世界の中でもユニークな伝統文化である。

・登山と山岳信仰

現在では、交通機関や道具の充実から登山が容易になり、観光やスポーツ利用になどで人が多く入り、環境汚染、禁忌行為が増加している。2016年に制定された山の日を契機に、自然と人間の調和を問い直し、経済優先の現代人の生き方を再考することが求められている。






役行者

錫杖頭

◇ ひっ付きむし対策



ボクとちがう

名 称	形 状・特 徴	姿 図	除 去 方 法
コセンダングサ	道端、荒地、畑地に高さ0.5~1.0m 9~10月に黄色の花、1~2cmの四角柱の果実の先にトゲのあるのぎが3~4本つく。 こののぎが衣服につく。		四角のペットボトルの角に上から下まで切込みを入れ、切れ込みを下にして押し当てこすり上げる。
オナモミ	草原、荒地、畑地に高さ0.2~1.0mの茎に1~2cmの楕円形のトゲで覆われた果実が集まってつく。8~10月に黄色の花が咲く。		・乾いたタオルで拭き取る ・粗目のスポンジ使用 ・掃除機で吸う。
ヌスビトハギ	草地や林縁に高さ0.6~1.0m、9~10月に紅紫色の6~8mmの蝶形花をつける。眼鏡のような3~6個の果実の表面にトゲのある細かい毛をつける。		・乾いたタオルで拭き取る。 ・掃除機で吸う。 ・粗目のスポンジ使用

*ナイロン・ポリプロピレン系の衣類を着用する。他の衣類と一緒に洗濯しない。

◇ 県連より

・大山の山頂と雪山ハイキング

場所:伯耆大山(鳥取県) 日程:2/23(木)~26(日) 行程:2/23 10:00 長崎発~26 21:00 帰着
交通手段:マイクロバス 冬山の基礎技術講習、大山登山、雪山ハイキング、安芸の宮島観光
費用:概算4万円 1/11 18:30 説明会(県連事務所) 1/22 10:00 事前訓練(市民の森)

定期トレーニング

コンパニオンレスキュー

実施日	11月26日	上半身ハーネス	マッシャー	1/3引き上げ	ルペルソ(確保)
場所	運動公園				
参加数	8名				



火曜岩ハイキング

月日	10/25 矢岳	11/1 御船山	11/8 富川溪谷
人数・時間	10名・4.5h	8名・4.0h	8名・4.5h
概要	宝原公園P～矢岳～宝原公園P～白雲山荘P～一切径の滝～智恩洞～白雲山荘P 矢岳登頂後車で移動し一切径の滝などを巡った。紅葉には少し早かったが、良い山行だった。	武雄文化会館P～梅林登山口～御船山～梅林登山口 御船山山頂までは急斜面で、下山時にはロープを使用した。頂上からの展望は素晴らしかったが、紅葉にはまだ少し早かった	富川溪谷P～森の吊り橋～大山神社～高峰展望台～富川溪谷 高峰展望台まではやぶこぎと急坂で苦戦。下山は別ルートで危険な個所の連続、5か所でロープを使用したため時間がかかった。
備考	矢岳 	御船山 	富川溪谷 



水曜登山

月日	10/5 経ヶ岳	10/12 多良岳周辺	10/19 金毘羅山
人数・時間	7名・7.0h	7名・5.5h	4名・4.0h
概要	平谷キャンプ場P～狸だまり～釜伏山～つけ尾～経ヶ岳～平谷越～馬の背～平谷キャンプ場P 最初にバンガローの横からテープのない急坂を上ってかなり体力を消耗し時間がかかった	金泉寺登山口P～六体地藏～黒木岳～一宮岳～前岳～多良岳～弁財天四面宮～金泉寺登山口P 気温は低かったが登山には最適な日和で登山道もよく、良い縦走が出来た。	立山桜公園P～金毘羅山～天狗山～西山第二自治会九州自然歩道登山口～旗揚げ広場～金毘羅山P 少ない参加者だったが、天気も良く、のんびりとダンギクなどの花々を愛でながらの山行だった。
備考	アケボノソウ 	一宮岳 	ダンギク 

11月20日晴れ「石谷山(754m)・九千部山(848m)・城山(494m)」

【行程】

(往) 西諫早駅 6:30—東背振 IC—御手水の滝 8:10～石谷山 10:15/10:25～九千部山 11:50(昼食)
(復) 九千部山 12:30～城山 14:35/14:45～城山自然公園着 15:30—東背振 IC—西諫早駅着 17:30

【参加者】12名：今坂、中里、乾、福岡、金丸、松岡、西、高森、陣川、山下ち、山下文、吉川

【登山概要】

鳥栖市と那珂川町、みやき町の境界に位置する脊振山系の石谷山、九千部山を目指して御手水の滝駐車場から登山開始。花崗岩の瓦礫の坂を大小の滝や石仏を観ながら行くと、落差22mの御手水の滝に着く。

滝を巻く急傾斜を登ると、沢沿いの平坦な山道になる。植林帯を流れる沢を数回渡り、高度を上げて樹林に囲まれた展望が無い石谷山に着く。テーブル傍の一本の紅葉が照葉樹林の中で際立つ。

休憩後九千部山に向け、落葉路を歩いていると山道沿いの赤色や黄色の紅葉樹に癒される。途中で老木にびっしりと寄生している椎茸みたいなキノコに驚く。落葉に覆われた緩やかな稜線を登って行くと、放送局の中継局が建つ九千部山の山頂だ。山頂は台地状の広場になっており、展望台やベンチ、テーブルが置かれ、ゆっくりと休むことが出来た。展望は360度良好。紅葉時期と相まって多くの登山者で賑わっていた。

昼食を済ませ下山する。帰路は四阿屋分岐から勝尾城の遺跡がある城山を目指す。しばらく平坦な山道を紅葉を楽しみながら歩く。城山手前の植林地の急登を、息を切らせながら登ると、勝尾城本丸跡や物見岩がある城山に着く。休憩後、終点の筑紫神社に向け下山する。巨石やロープ場、えぐれた岩道、植林地の急坂な山道を下りて、紅葉に囲まれた筑紫神社に着いた。

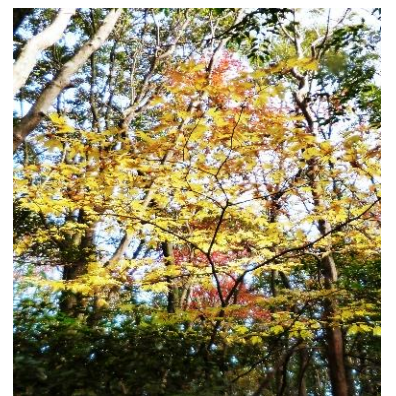
ちょっと感想

☆綺麗な紅葉も見ることが出来、又城山への変化ある下山道、勝野城址の歴史にも想いを馳せることが出来、楽しい山行でした。

☆御手水の滝からの登りと城山の下りは急坂で気が抜けなかった。

他は平坦な尾根道だったので、のんびり歩くことが出来ました。

☆三座それぞれに特徴があり変化があつて楽しかった。また、紅葉も綺麗で自然を満喫しました。



御手水の滝



九千部山山頂



城山山頂

11/27 八方ヶ岳(1052m)



参加者：堺、乾、今坂、福岡、金丸、浦、吉川、松岡、福田、川野、陣川、渡辺、川原、高田

行程

(往) 西諫早駅6:30—菊水IC—県道16号/国道325号—道の駅水辺プラザかもと—江良橋—矢谷橋登山口9:54～穴川越11:00～斑蛇口分岐～山の神分岐～11:56八方ヶ岳頂上(昼食)

(復) 八方ヶ岳頂上 12:23～山の神分岐～蟹足岳 13:36(819m)～13:55 カニのハサミ岩～急な下り、ロープ場連続～14:42 林道出合い～矢谷橋登山口～15:10 江良橋—菊水 IC—18:40 西諫早駅着

登山概要：八方ヶ岳は菊池市と山鹿市にまたがる九州百名山の一つ。

山名はどの方向(八方)から見ても一様な形であることからつけられたと言う。矢谷橋登山口から登り始め、右下の沢の水音を聞きながら大小の滝を眺めて登って行く。大きな岩が多くなって、枯れた沢を何度か横切り登りつめると穴川分岐。ここでちょっと休憩。森はモミの大木やシャクナゲ、馬酔木、カエデなど樹々も多様で美しい。

八方ヶ岳の山頂は広く開けていて、九重や阿蘇、雲仙など九州の山々を見晴らすことができ、素晴らしい眺望だ。昼食後、山の神分岐から左折し、蟹足岳へ向かう。九十九折れに曲がった長い急な坂を下り、鞍部から少し登り返して蟹足岳の頂上へ。蟹足岳の頂上は展望もなく、木にかけられていた標識でそれとわかった。

カニのハサミ岩への登りは梯子を登り、ロープを掴み、慎重に登った。カニのハサミ岩の横は絶壁で深い谷だ。高度感を楽しんだり、怯えたりと、色々な顔が見られた。ここからの下りがロープ場の続く急な下りで一番の難所だったが、一人も転ぶことなく無事に下った。林道の紅葉を楽しみながらマイクロバスの待つ江良橋へ戻った。



登山口近くのイワナの養殖場



最初のはしご場



カニのハサミ岩の上で

一言感想

☆カニのハサミ岩に登れて楽しかった、スリルと景色が最高でした

☆滝を横目に沢を登り、カニのハサミ岩をよじ登り、連続、激下り、変化に富んで楽しかったです。

☆八方ヶ岳には5年前に行ったでしょうか？カニのハサミ岩は初めてです。楽しいロッククライミングができると思います。

50m ロープ。5ピッチ程度かな？

☆八方ヶ岳の頂上からの展望が素晴らしかったです。久しぶりにガッツリ登り、ロープ場の続く急な下り、面白い山でした。春の花の季節もいいだろうなと思いました。

11/25(金)快晴 大花山(875m)



大花山から鳥甲山摩利支天宮郡岳を臨む



行程

西諫早駅 9:10—林道登山 9:50
～大花山頂 11:40(昼食 25)～
林道登山口 13:50—高峰展望台
14:10—西諫早駅 14:50



参加者

福岡 田村 高森 渡辺 乾
金丸 今坂 山口い 林

登山概要

高峰展望台の前を通り、広域基幹林道に出る。右折して少し行くと左手に鎖のかかった林道あり。車はここで止める。林道を登り二股に分かれた右の道をとる。五分ほど行くと五ヶ原岳と書いた板が木にかけてあった。ここから山道に入る。このコースは殆んど利用されていない。テープを確認しながら登る。廃道のような林道を二か所横切り高度を上げていく。このコースには急坂がないので楽に歩ける。登山口から山頂までは 50 分ほどで着く。

山頂からは木々の間から郡岳、遠目山、遠くには虚空蔵山が見えた。帰路も同じコースを帰る。高峰展望台に寄る。木々が紅葉して綺麗だった。展望台からは天気が良かったので五ヶ原岳、雲仙など眺望が最高だった。

ちょっと感想

- * ゆっくりと、自然の空気を吸いながら気持ちよく歩きました。
- * 展望台の木々も紅葉して、青い空の下輝いて綺麗でした。
- * 天気が良かったので、遠くまではっきり見えて、五ヶ原岳や雲仙の姿が素晴らしかったです。
- * ひまわりらしく、ゆっくりのんびり、楽しみながらの山行でした。



11/11. 12. 13 鳥取県 伯耆大山

行程

11日(金) 米庭址 5:40—西諫早 5:50—松原バス停—筑紫野バス停—中国自動車道・落合 JCT—米子道 15:33—奥大山鬼女台展望台 16:05—杣水高原—とやま旅館着 17:04

12日(土) とやま旅館 7:30～大山寺・大神神社 7:55(行者コース)～5 合目分岐 9:30～6 合目避難小屋 9:50～弥山頂上(1709m) 11:22 昼食～5 合目分岐 12:45～夏山登山道駐車場 14:45—米子ユニヴァーサルホテル着 15:00

13日(日) ホテル発 7:30 山陰道—石見銀山世界遺産センター9:30(30分見学)

銀山公園より徒歩にて紅葉と龍源寺間歩まで 120分ガイド付きで散策 13:30分帰路へ中国自動車道—九州道—西諫早到着 20:30

登山概要

11日(金)

諫早を出発し、約10時間のバスの旅。車内も今から行く大山山行の話に花を咲かせ、誰一人居眠りなどする者はいない。皆達者で、参加者平均年齢が72歳?とはとても思えぬ元気である。途中、適当に昼食らしきものを各人で済ませ、鬼女台展望台に到着。遠くに大山を臨み、紅葉真っ盛りの風景を楽しむ。その後杣水高原の紅葉を堪能し、予定より30分遅れでとやま旅館に無事到着した。

夜の部は店主にジギスカンとカニまで振舞って頂き、盛会であった事は言うまでもない。

12日(土)

昨晚旅館の店主より往路は神社経由で登り、復路は通常の夏山ルートで帰ることをアドバイス(安全上の配慮)されたので、今回はそれに従い大山寺・大神神社経由で登山を開始した。全員が足取りも軽く快調に登り、6合目避難小屋に到着。暫く日本海の絶景を堪能した。

休憩後に登山を再開すると母親と幼児の2人連れに出会う。思わず、「頑張ってね、何歳なの?」と声をかけると、4歳との返事。凄い、地元の子供だろうか?片道3時間よく頑張るものだと感心する。

途中で少し岩場があり、ほどなくすると整備された木道に到着。ここまで来ると弥山頂上はもうすぐだ。ここで木道の脇に珍しいものを発見。大山の固有種大山キャラボクに赤い小さな実をつけていた。(写真参照)

11時22分弥山頂上到着。頂上には若者が多く、我々の年代は1割にも満たない状況に、我ながら高齢者登山を実感したが、まだ若いものには負けないとの強い信念を確認したのであった。



頂上では登山客が約 40 名と多かったので、我々は雄大な 360 度の眺めだけを楽しんで、昼食場所を探しに下った。昼食場所を風の少ないくぼ地になった石室前に定め、旅館が作ってくれた恵方巻風のおにぎり巻きに舌つづみを打つ。この恵方巻が皆に好評でとても美味しかった。

下りは足も疲れているので慎重に下り、5 合目分岐に到着し暫く休憩。通常の夏山登山道入り口まで、心地よい傾斜と紅葉の落ち葉を踏み締めながら完歩の安堵感に浸ったのであった。

夏山登山道駐車場に到着。その後 2 日目の宿泊場所の米子ユニヴァーサルホテルに向かった。ホテルにバスの駐車場が無く、駐車場探しに少し時間を要した。

13 日(日)

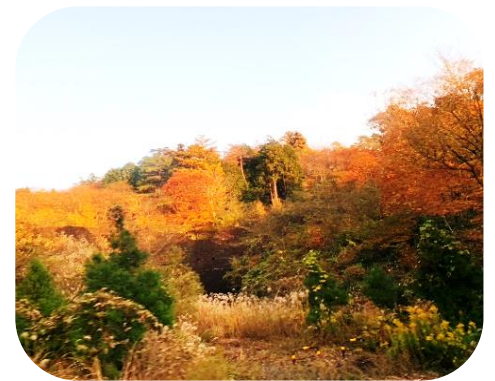
ホテルを出発し山陰道経由で世界遺産センターへ。ここで約 30 分見学し、龍源寺間歩をガイドさんの懇切丁寧な解説を聞きながら、約 2 時間石見銀山路を散策した。

中国自動車道・九州道にて帰路についた。担当者のご苦勞と全員無事故で山行出来た事に感謝。



ちょっと感想

- ・ 奥大山の紅葉と大山南壁の景観が見られて満足。銀山はガイドさんの説明で深く歴史を学ぶことが出来ました。
- ・ 大山の外観に圧倒されました。紅葉に心癒され無事に山頂に立てたことに喜びもひとしおでした。
- ・ 1 日目 柘水公園で錦秋、2 日目 体力の衰えを感じつつ弥山頂上へ、3 日目 世界の 1/3 を算出していた歴史ある石見銀山のすべてが良かった。
- ・ 快晴の中、弥山登頂は最高。とやま旅館の昼弁当恵方巻風おにぎりは超絶品でした。
- ・ 20 年ぶりの大山。柘水高原から見た広大な高原の紅葉に鼓舞された。石見銀山ではガイドさんの説明に聞き入った。
- ・ 紅葉も最高、3 時間の登りに耐えた自分の足を褒めたい。銀山も歴史深い。





おれんじカレンダー

1月			2月		
1	日		1	水	水曜登山 (自主)
2	月		2	木	
3	火		3	金	
4	水		4	土	ボルダリング (技研部)
5	木		5	日	頭巾山、難所ヶ滝 (山行部)
6	金		6	月	
7	土	ボルダリング (技研部)	7	火	火曜岩ハイキング (自主)
8	日	長崎七高山巡り (山行部)	8	水	水曜登山 (自主)
9	月		9	木	
10	火	専門部会 火曜岩ハイキング (自主)	10	金	
11	水	水曜登山 (自主)	11	土	藺牟田池外輪山 (鹿児島県)
12	木		12	日	(技研部)
13	金		13	月	
14	土	ボルダリング (技研部)	14	火	専門部会 火曜岩ハイキング (自主)
15	日		15	水	水曜登山 (自主)
16	月		16	木	
17	火	火曜岩ハイキング (自主)	17	金	
18	水	水曜登山 (自主)	18	土	ボルダリング (技研部)
19	木		19	日	立花山、三日月山 (自然保護部)
20	金		20	月	
21	土	ボルダリング (技研部)	21	火	火曜岩ハイキング (自主)
22	日	天山(七曲峠~岸川) (自然保護部)	22	水	全体集会 水曜登山 (自主)
23	月		23	木	
24	火	火曜岩ハイキング (自主)	24	金	矢上普賢岳 (ひまわり部)
25	水	全体集会 水曜登山 (自主)	25	土	コンパニオンレスキュー
26	木		26	日	
27	金	健山、烽火山 (ひまわり部)	27	月	
28	土	コンパニオンレスキュー	28	火	火曜岩ハイキング (自主)
29	日				
30	月				
31	火	火曜岩ハイキング (自主)			

川原問所掌➡火曜岩ハイキング(9:00)、コンパニオンレスキュー(月末土曜 9:30) 西諫早駅集合
 ボルダリング(コンパニオンレスキュー日を除く毎土曜 13:30) またたび

発行元	オレンジハイキングクラブ
発行責任者	鎗水 律夫
編集責任者	高田啓子
編集委員	工藤学、福田清人、吉原昌弘、中里利行、 西寿男、山下文代、林孝子、福岡正廣
発行年月日	2022/12/21
郵便振込口座	
ホームページ	http://orangehikingclub.com (一般参加希望者はHPより)